

報道機関各位



我孫子市

Abiko city

令和5年1月23日  
定例記者会見資料

## 杉村楚人冠記念館 テーマ展示「てがみ展 楚人冠の仕事を支えた人びと」

本展示では、杉村楚人冠と共に時代を駆け抜けた、東京朝日新聞社の方をはじめとする仕事仲間たちを紹介します。

### テーマ展示「てがみ展 楚人冠の仕事を支えた人びと」

期 間：令和5年3月5日（日）まで※月曜休館（祝日の場合は翌平日）

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館4時まで）

場 所：杉村楚人冠記念館

入 館 料：300円（高校・大学生200円、中学生以下無料）

展示資料14点の中から、おすすめの資料2点を紹介します。

◎池辺三山いけべさんざん（本名：池辺吉太郎） 書簡 [飢饉真況を伝える貴兄の記事は救恤義金に大いなる力となっているに付き] 明治39年

池辺三山は、当時の朝日新聞社の主筆です。そんな池辺からの書簡には、楚人冠が明治39年に東北地方の大凶作による大飢饉きょうさくきゆうえん ぎえんきんを生々しく取材したことにより、凶作救援義捐金が順調に集まっていることが記されています。

◎成沢玲川なるさわれいせん（本名：成沢金兵衛） 書簡 [病氣経過伺いと見舞い品送付及び調査部長転任に付] 昭和12年6月15日

成沢玲川は、楚人冠が大正12年に写真週刊誌の先駆けとして創刊した『アサヒグラフ』の写真担当です。成沢からの書簡には、楚人冠が体調不良だった際にお見舞いとして、昭和10年創業で現在まで営業が続いている「富士アイス」のパンとシロップを贈った旨の記述があります。

#### 【問い合わせ】

我孫子市教育委員会

生涯学習部文化・スポーツ課

杉村楚人冠記念館 担当：武藤

☎04-7187-1131（直通）

テーマ展示 てがみ展

# 楚人冠の仕事を 支えた人びと

1月11日（水）～3月5日（日）



写真右から2番目：杉村楚人冠、左から2番目：土岐善麿（『楚人冠全集』の編集者の一人）



我孫子市杉村楚人冠記念館

テーマ展示「てがみ展 楚人冠の仕事を支えた人びと」

開館時間 午前9時～午後4時30分（入館午後4時まで）

休館日 月曜日

入館料 一般300円／高校・大学生200円 中学生以下無料

団体20名以上2割引 障がい者免除あり

3館共通券（白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限1か月）一般500円／高校・大学生400円

2館共通年間パスポート（白樺文学館共通、1年間入館可、特典あり）一般2,000円

交通手段

JR常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩9分  
阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩5分  
駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。



邸園の椿もぜひ  
ご覧ください！



物語の生まれるまち あびこ



我孫子市杉村楚人冠記念館

〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131